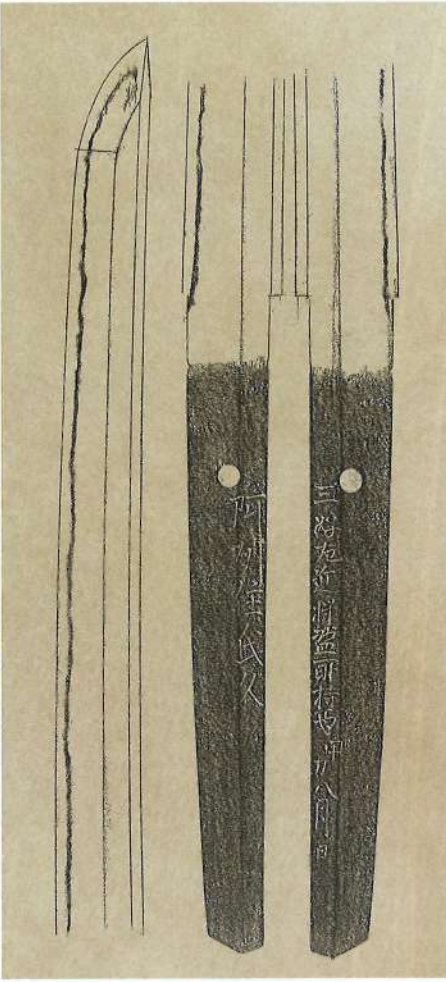


時代を映す刀

—阿波の古刀、新刀、新々刀

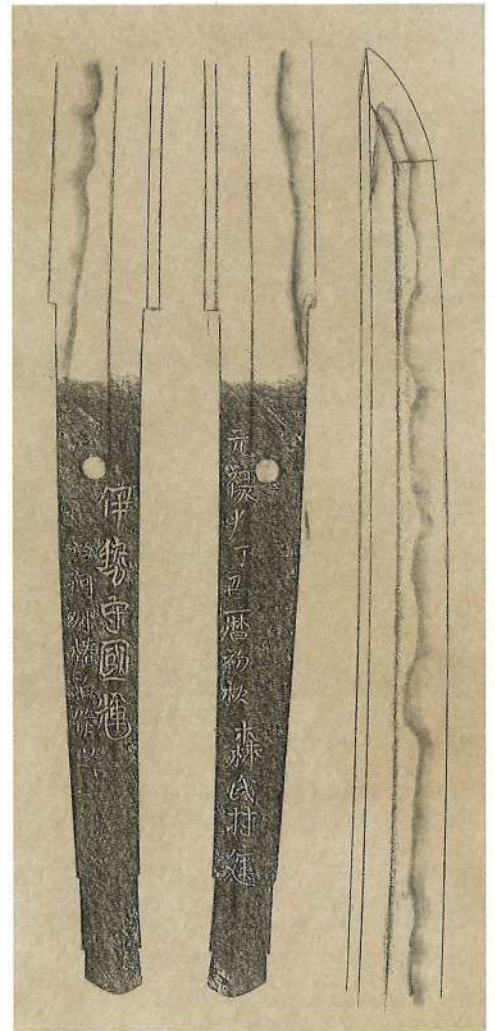
刀剣はその製作時期によって、大まかに古刀、新刀、新々刀、現代刀という四つの年代に分けることができます。古来より各地で作られてきた刀剣ですが、阿波徳島でもたくさんの刀剣が作られ、使用されてきました。この展覧会では古刀、新刀、新々刀に注目しますが、それぞれの時代で阿波の刀剣史を彩った優品が存在します。そういった「時代を映す」刀たちを通して、刀の姿などの変遷をご紹介します。また刀装具、甲冑の展示も合わせて行い、阿波刀を取り巻く歴史を振り返ります。



刀 銘(表) 阿州住氏久
(裏) 三好左近將監所持也甲寅八月日
(徳島県立博物館蔵) 押形



脇差 銘(表) 應佐藤為成子需安喜佐寿造
(裏) 文政丁亥二月也正阿彌孫平田長美彫之
(山館蔵)



刀 銘(表) 伊勢守國輝於阿州椿泊作之
(裏) 元禄丁巳曆初秋森氏村建
(個人蔵) 押形



刀 銘(表) 安政三年八月吉日
(裏) 祐芳作 当館蔵部分



韋駄天図縁頭
銘保随(当館蔵)